

遺伝子パネル検査 検体提出チェックリスト

依頼日： 年 月 日

医療機関名： 採取臓器

記入者：所属 氏名 採取方法

患者氏名 性別 年齢 採取日 年 月 日

原則、日本病理学会編集の「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程」に従ってください。なお送付検体は基本的には薄切標本ではなくブロックを推奨します。ブロック送付が不可能な場合や、検体作製においてご不明な点がありましたら、下記連絡先にご相談ください。

条件を満たす項目にチェックをつけてください。(全て満たすことが原則)

- ☐ 1. 摘出後、1 時間以内、遅くとも 3 時間以内に十分量の 10% 中性緩衝ホルマリンで固定を行っている。
直ちに固定を行えない場合、摘出臓器を冷蔵庫に(4℃)に保管し、3 時間以内に固定。
速やかに固定が完了するように、固定前に適切に組織片を切り出す。
- ☐ 2. ホルマリン固定時間は 72 時間を超えていない。(約 時間)
6～48 時間以内 (微小な組織検体や細胞検体では 6～24 時間) を推奨する。
- ☐ 3. 硬組織の場合は EDTA で脱灰を行っている。
- ☐ 4. 摘出後、3 年以内の組織である。
- ☐ 5. ブロックは冷蔵下で保管している。(推奨)

[備考欄]

当院ホームページの医療機関向け案内もご確認下さい。

問合せ先：徳山中央病院 臨床検査部 病理 0834-28-4411(内線 2241)

担当者・岡田